



日吉台小で行われるようこそ先輩事業のコンサート

文化の香り高い日吉台めざし

学区まちづくり協議会は、8月開いた委員会にて、文化の香り高いまちづくりをさらに推進するため協議会内に文化事業部を発足させることを決めた。同協議会では、すでに、日吉台新聞事業部、子育て応援隊事業部、マルシェ事業部、空き家対策事業部、花と緑の町並み事業部が活動を進めており、

文化事業部を設置

コンサートや文化講演事業など多彩に

文化事業部の発足で6事業部体制となる。日吉台学区の歴史はまもなく半世紀を迎え、まちは、円熟期に入っている。住民の地域に対する期待や要望は日を追うごとに高まりをみせ、まち協では、住民にとってよりいっそう安らぎ喜びあふれるまちを求めているとして、この文化事業部

を立ち上げることにした。まちづくり協議会では、すでに「日吉台コンサート」や日吉台小の文化人先輩を招いた「ようこそ先輩」などの事業を実施しているが、文化事業部の設置で今後は計画的、継続的な事業を行うことができるようになる。計画によると、「日吉台コンサート事業」「よ

うこそ先輩事業」「教養・文化講演会事業」が活動の柱。日吉台コンサート事業は、年2回、プロの演奏者を招いて日吉台市民センターで、クラシック・コンサートを実施。今のところ第4回日吉台コンサートとして、12月2日、オペラ歌手を招聘する準備が進められている。また、第5回目とし

て、弦楽五重奏コンサート実施の構想もある。「ようこそ先輩事業」は、日吉台小コミュニティスクール事業の一つとして位置づけている。日吉台小卒業生の音楽家やスポーツ選手、文化人、政治家、企業家などを招いてコンサートや講演、実技指導などをしてもらい、日吉台小の子どもたちに未来を考える手がかりを提供する。「教養・文化講演会事業」は多彩な経験、キャリア、専門性を持つ日吉台住民に登場してもらい、

住民の知識と教養を高めようという事業。要請があれば、これら文化人、学識経験者、専門性を持つ人らを学区外にも派遣、学区の情報発信の一助にすることも考えられる。まち協では、日吉台コンサート事業を推進するために実行委員を募っている。応募、協力ができる人は次回実行委(9月28日午後7時、市民センター会議室)に参加するか、林まちづくり協議会長(090・5040・4309)まで。

9月9日、市民センター学区社会福祉協議会主催の「第14回日吉台福祉まつり」が9月9日、日吉台市民センターで開かれる。11時から敬老のついでとして式典、11時半、昼食会。12時50分から「ふれあいサロン」。幼稚園児の歌や民謡などある。

日吉台新聞

HIYOSHIDA I

発行

日吉台学区自治連合会
日吉台学区
まちづくり協議会

発行責任者
林 堅太郎

編集責任者
村澤 真保呂

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

まちづくり協議会

自治連改革へ第一歩

あり方検討委スタート

学区自治連の特別委、自治連あり方を検討する委員会(仮称)の初会合が8月6日、市民センターで開かれ、地域社会と住民生活の構造的な変化に伴い、自治連合会の抜本的なあり方を優先的な検

討課題とし、市が提唱する市民センター改革案への対応策についても協議することを確認した。最初に委員会の進めかたについて協議、会長に林堅太郎学区まちづくり協議会長、事務局長に西

治彦さんを選んだ。初会合の協議は、委員から学区自治連、各自治会、各種団体が現在抱える課題や問題点を自由協議で抽出、進めかたの方向性を協議した。同委は、当初コミュニ

次回委員会は、9月4日に開催、現在改革を先行させる自治会の住民アンケートの結果や改革案を共有し、そのなかから学区自治連合会としての課題や方向性を議論することとしている。



空き家対策視察相次ぐ

長浜市や富山県・射水市からも



日吉台を訪問、空き家対策の研修をする富山県・射水市の視察団一行

日吉台学区の空き家対策事業について研修した。長浜市と射水市の研修は、ともに日吉台市民センターで実施。濱崎博・学区空き家対策事務局長がプロジェクトを使って説明。濱崎事務局長が行う「行政を頼りにしない」日吉台が独自にまちづくりとして行う空き家対策事業に参加者らは熱心にメモをとりながら耳を傾けていた。

学区自治連が進める空き家対策事業で、日吉台に各地から視察研修が相次いでいる。7月31日には、同じ滋賀県長浜市の

連合自治会(廣瀬真啓会長一行25人)、8月22日には富山県射水市の地域振興会連合会(宮田雅人会長一行26人)が来訪、

困ります!そのオシッコ!!
マナーを守りましょう!



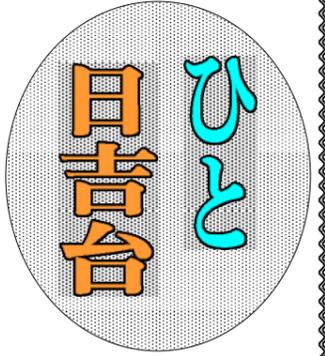
犬のトイレは適切な場所で!
※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用意(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。

大津市動物愛護センター

福祉まつり開催

9月9日、市民センター学区社会福祉協議会主催の「第14回日吉台福祉まつり」が9月9日、日

吉台市民センターで開かれる。



第70回毎日書道展全国入賞・毎日賞

日吉台市民センター職員

猪飼 朱実さん (58)

大津市仰木

歴史のある書道展、それも毎日賞の受賞となりました。

びつくりしています。大変大きな賞をいただき、喜びとともに身の引き締まる思いです。

書道をはじめたきっかけは、

小学校4年生のとき。母の勧めで、字がうまくなりたいたい、という単純な気持ちでした。県書道協



最初の一笔、醍醐味

会理事の三原研田先生が開いていた書道教室に通いました。本格的に取り組んだのは高校生になってから。旧西浅井町生まれで毎日書道展名誉会員の書家で高校の書道部の顧問をしていた大田左卿

さんとの出会いが書の道を志す大きなきっかけです。今回の受賞作品を教えてください。

「夏雨過騒擾 我獨望遠峯」夏の雨(夕立)は騒がしく過ぎて行って、雨も上がり、私は一人で雨上がりの雲が昇っていく。遠くの峰をながめている。漢詩は、高校の授業程度の

今回は漢字Ⅱ類での受賞、書の得意分野は篆、隸、行、草書、かな、などさまざまな分野の勉強をされていて、出展分野もさまざまなものを出しています。

書の醍醐味は、行き詰まったことはありませんでしたか。

未踏の積雪に第一歩を踏み込むような最初の一笔。絶対に同じものが書けないところが、苦しさでもあり楽しさです。毎日書道展では、64回展から5年間入賞できなかったのが原点に帰り、平成8年、48回展で初入選した時と同じ隸書体五言詩10文字で挑戦、賞を受けることができました。

今後の目標を教えてください。

そろそろ自分の得意分野を定めなくては。それを見極めるのが目標です。退職後は指導者を目指したいですね。

知識しかありません。書の題材に用いるのは漢詩が多く書籍で漢詩にふれています。

これまでの主な受賞歴は

平成25年、県美術展、芸術文化祭賞、県書展会員奨励賞受賞後、現在は審査会員。平成20年、23年県勤労者美術展、知事賞、平成25年、30年、近江神宮全国献書展で毎日新聞社賞受賞、神前揮毫



防災避難ガイド作成

3丁目西自主防災会

日吉台三丁目西自主防災会は、巨大地震や豪雨災害のさい、命を守り安全に避難するためのよ

うな行動すればよいかをまとめた「防災避難ガイド」を作成、住民に配布した。



住民から浜大津線のバスの経路を求められているJR比叡山坂本駅

浜大津線バスをJR坂本駅経由で運行を

学区自治連など、江若交通へ要望

学区自治連(野々口義信会長)と学区まちづくり協議会(林堅太郎会長)は、連名で江若交通に対し、JR大津駅-同堅田駅間を運行する浜大津線のバスをJR比叡山坂本駅経由とする要望書を提出することを決めた。

学区在住の住民が地元自治会を通じ学区自治連に要望があり、学区自治連は、江若バスに乗りうるまち協に問題提起した。要望によると、近年161号沿いには、大型ショッピングゾーンは、行きたくてもゆけない地域のひとつ。要望は、江若バス



恒例のラジオ体操

日吉台小学校グラウンドで始まったII写真。日吉台夢・未来事業推進委員会が夏休みに期間中、毎年行う行事。今年例年にならぬ猛暑のため熱中症を心配して開始時期をお盆休み明けに繰り延べていた。開幕時期がずれたものの今年のラジオ体操には、連日80人近い学区住民や子どもたちが訪れ、ラジオにあわせ気持ちのよい汗を流している。

避難ガイドは、いざという時に備え、日ごろから隣近所とのつながりを大切に、一人で避難できない高齢者や障害者をサポートし、事前に手助けの方法や支援策を隣近所で話し合っておくことを求めている。

ガイドでは、避難勧告の氏名、性別、安否確認が記録できる「ふれあい安否確認カード」を作成、各世帯に配布。一次避難所集合場所では、避難住民から安否確認カードを提出してもらい、全住民の安否を確認することにしている。

「ごちそうさま」を宴席で さんまる いちまる 3010 運動 30 30分は自席で食事を楽しみましょう。 10 お開きの10分は自席に就いて食べ切りましょう。 食器口ス削減のため、宴席での料理を食べ切る運動にご協力。 ごみ減量と資源再利用推進会議・大津市